滝の白糸（1956）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 Color
初公開日 1956/07/12

【解説】
泉鏡花の同名原作を島耕二が脚色・監督した。1915年版から数えて六回目の映画化となるが、本作は初めてカラーで製作された。
水芸人「滝の白糸」一座は、寅五郎一座からの合流の申し出を断り、金沢で公演を行い成功を収める。夜、散歩に出かけた白糸は、川岸で馭者の村越欣弥と出会った。法律を学んでいるという欣弥の話を聞き、白糸はその費用を出すことにする。欣弥が東京に出ても白糸は送金を続けた。だが滝の白糸一座も時代の波には勝てず、富豪の上林からの援助を受けるようになる。金沢での凱旋公演が成功した日、上林にもらった金を欣弥に送ろうとした白糸は、寅五郎に金を奪われてしまった。金を工面してもらおうと上林を訪れる白糸だったが、体を求める上林に抵抗し誤って殺害してしまう。

【クレジット】
監督 島耕二
製作 永田雅一［製作］
企画 塚口一雄
原作 泉鏡花
脚本 島耕二
撮影 長井信一
美術 仲美喜雄
音楽 大森盛太郎
出演 若尾文子
菅原謙二
刈田とよみ
近藤美恵子
若原一郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.